

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

5

1992
MAY
月号
NO.426

シリーズ “働く”

いつも明るくはつらつ健康美人

4月29日の町の成人式にも出席した鈴木絵美さん（大隅・20歳）は、「旅行やショッピングなど、今は何をしても楽しい」と、はちきれんばかりの笑顔で話してくれました。

食品業界の中でも、成長著しい冷凍食品製造を行う日東食品大谷工場に勤める彼女は、製品管理

のアシスタントチーフという、責任の重い職務をこなしています。

百十日以上の休日を利用して、県外へのドライブやショッピングを楽しむ彼女。「先日は、宮城県菅生のオートバイ観戦を楽しんできました」と日焼けした顔はニコニコ。





べにばな国体「壮年ソフトボール競技」 あなたの力を結集し大会成功

山形県の今年最大のイベント「べにばな国体」は、冬季大会が終了し、夏季・秋季大会に向け県民一丸となった取り組みを展開中です。
わが町でも九月七日、八日に「デモスポ壮年ソフトボール競技」が県内22チームの参加のもと開催されます。今月はQ&A方式で大会の概要をお知らせし、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

9月7日・8日に

町内三会場で開催

Q 今年は何といっても国体の年ですが、朝日町ではどんな種目がいつ、どこで行われるのでしょうか。

A 今年県内全域で開催される第47回国民体育大会「べにばな国体」は、半世紀に一度巡ってくるスポーツの祭典です。

三十九の正式種目と三つの公開競技、それに九種目のデモンスportレーション行事が四十四市町村全域で繰り広げられます。わが町では、そのデモンストレ

ーション行事のひとつ「壮年ソフトボール競技」が、朝日中学校グラウンドと西部地区総合運動場（旧西五百川中）と大谷地区運動場（秋葉山）の三会場を使用して九月七日（月）・八日（火）の両日にわたって開催されます。

参加チームは県内四十四市町村の代表チームのうち置賜、村山地方の二十二チーム、およそ三百五十二名が来町します。残りの二十二チームは庄内の藤島町を会場として行います。

Q 地元朝日町の代表として、出場するチームはどこですか。

A 町から出場するのは、昨年

の六月に行われた予選会で優勝した「朝日ベアーズ」（高橋久監督）です。同チームは冬期間には屋内運動場で、基礎体力づくりや基本技術の習得に週二回ほど練習を行って来ました。五月の連休明けからは、週三回の早朝練習を朝日中グラウンドで行っています。結成以来負け知らずの強豪チームですので、本番での活躍が大いに期待されると思います。町民のみなさんの温かい声援をお願いします。

Q 大会を受け入れる現在の準備状況はどうなっていますか。

A 町では、大会成功に向けて万全の体制をつくって準備を進



町代表の「朝日ベアーズ」の選手のみなさん

「壮年ソフトボール競技」開始式次第

● 9月7日(月)
● 朝日中グラウンド

順序	次 第	予定時刻	所要時間	備 考
1	開 式 通 告	8:46	1分	アナウンス通告
2	国旗・国体旗・協会旗 県 旗 ・ 町 旗	8:47	2分	行進曲演奏
3	選 手 団 入 場	8:49	15分	行進曲演奏(旗手を先頭に チーム毎)
4	開 始 宣 言	9:04	1分	花火・風船
5	国 旗 掲 揚	9:05	1分	君が代演奏
6	国体旗・協会旗・県旗 町 旗 掲 揚	9:06	1分	若い力演奏
7	会 長 あ い さ つ	9:07	2分	コンパニオン誘導
8	歓 迎 の こ と ば	9:09	2分	コンパニオン誘導
9	選 手 宣 誓	9:11	2分	ファンファーレ 花火 旗手集合
10	閉 会 通 告	9:13	1分	アナウンス通告
11	選 手 団 退 場	9:14	3分	行進曲演奏(一斉退場)



当日式典を盛り上げる朝日中ブラスバンド部



はつらつとした動きで早朝練習をする

めています。平成二年七月に大会実行委員会(小林富蔵実行委員長)を設置し、その中に四つの専門委員会をつくり細部検討を重ねてきました。また、審判員の養成や昨年の五月には、ペにはな国体町民運動推進協議会を設立し、町民一丸となった受け入れ体制を整えています。

施設整備については、メイン会場となる朝日中学校グラウンドの暗渠施設を改修したり、西部地区総合運動場の観覧席の整備やフェンスの設置を行ってきました。

今年度はいよいよ実施の年になるため、これから報道部、医

療衛生部、接伴部、競技式典部、輸送部、交通防災部、会場施設部の七部三百九十三名からなる実施本部を早急に設けることにしています。

5月31日に 100日前セレモニー

Q わたしたち町民が参加できることはどんなことでしょう。

A 実行委員となつているみなさんからは、会議等に出席いただき内容の検討を願っているところ。当日特にご協力いただくみなさんは婦人会、交通安全協会、朝日中、ソフトボール協会、体育協会などのみなさんが中心になります。それ以外に一般の町民のみなさんからは、来町する選手を気持ちよく迎える朝日町に好印象を持って帰っていただくため、「あいさつ運動」や「花いっぱい運動」を展開していただいています。そして、当日何よりご協力いただきたいことは、大勢の町民の方が応援に参加し大会を盛り上げていただくという事です。

また、式典コンパニオンや試合のアナウンサーやビデオ係などの協力員も募集しています。この機会にあなたも国体に参加してみたいかがでしょう。

Q 今後の予定はどうなっていますか。

A 五月十七日の町春季大会をはじめ、六月の西村山地区大会、七月の山形県家庭婦人大会と各種大会が目白押しです。このような大会を通して、競技運営の最終チェックを行う予定です。

また、五月三十一日(日)には開催百日前を記念して「ペにはな国体デモ・スポ壮年ソフトボール競技開催百日前セレモニー」を宮宿商店街を中心に行います。西五百川小学校のファンファーレバンドや婦人会の「ペにはな国体音頭」などを披露し、大会のムードを一気に盛り上げることになっています。

Q 国体終了後の社会体育については。

A 今回の国体の特徴的なことに、開かれた国体という点があります。県民を対象としたグラウンドゴルフやインデアカなどの軽スポーツが六種目ほどあり、少年から高齢者まで参加できるものとなっています。

スポーツに対する多様なニーズがある現在、だれでも気軽にできるスポーツがこれから大切になってくるものと思われれます。今回の国体の一つのきっかけに、生涯スポーツの一層の振興をめざすことにしています。

わたしたちの

べにばな国体

応援歌



施設整備も万全に
(西部地区運動場)

本町区では町から配付される花の他に
大会を盛り上げるため、独自の花いっぱい
運動を展開しています。



大会盛り上げようねわかな声

大会アナウンス嬢

太郎一

長岡 孝子さん(主婦)



もともとマスメディア関係の仕事に興味
があつて、高校時代はその方面に就職した
いと考えていました。そんな思いをずっと
持ち続けていたので、今回の国体のアナウ
ンサー募集のお知らせを見たときは、だめ
で元々という気持ちで応募しました。

小、中、高と放送部に席を置いていまし
たし、選挙のウグイス嬢をやっても声が涸
れるということもなかったので、マイクを
握っても大丈夫だろうとは思っています。
しかし、これまで全然経験したことがない
ソフトボールの試合の放送ということだと

ても不安です。昨年、南陽市で二日間講習
を受けてきましたが、ルールが全く分から
ないので、その勉強からはじめているところ
です。

商売で車を運転しながらラジオを聞く機
会が多いので、野球放送のときなどは、ア
ナウンス嬢の場内アナウンスに聞き耳を立
てて研究しているところです。本番までは
ひとつでも多く実践を体験し、当日は間違
いのないさわやかなアナウンスで大会を盛
り上げたいと思っています。

歓迎の「JJJN」を聴きたい

児童、生徒たちの活躍

べにばな国体がいよいよ開催されますが、
この大会が児童、生徒たちにとって意義の
あるものになりたいと考えているところです。
何といっても、当日メイン会場となる朝
日中学校では、中学生のみなさんが補助員
として、大会のお手伝いをするることになっ
ています。小学校の児童たちは、各学校の
時間割にあわせ近くの会場に応援参加を予
定しています。

また、これまで町内の全校では「国体コ
ーナー」を設置したり、学校周辺を花でき
れいにする運動、さらに、あいさつ運動な

どを展開してきました。来町する選手のみ
なさんから、学校のことや町のことを聞か
れても、ハキハキと答えられるようにと、
町の学習にも力を入れています。また、運
動会の時に全校生で国体音頭を踊ったり、
児童集会で国体クイズを行ったり、意識の
盛り上げを図っています。

今回のべにばな国体を通し、各学校では
デモスポだからということではなく、子供
たちが来町するみなさんを温かく迎える心
を育てる機会にしたいと考えているところ
です。

町校長会長

望月 正信さん
(大谷小学校長)





子供たちの意識を高める
国体コーナー（和合小）



おーいおーいばんばん!!

出場選手の奥さん

しょうか。

デモスポ出場が決まってから、町体育館で毎週二回夜間練習をしているようです。忙しい毎日ですが、練習日のときは張り切って仕事をしているように見えます。大会に出場する「朝日ベアーズ」の一員となつてからは、かえって生活にハリが出て、若返つたように感じています。

五月からは週三回火曜、木曜、土曜の早朝に朝日中学校のグラウンドで練習するそうです。仕事柄お酒の付き合いなどで夜遅くなることもありましたが、今度は練習に影響するので、帰宅が早くなるのではないで

五月十七日の町のソフトボール大会、六月に予定されている西村山地区の大会と九月七日の本番に向けて、各種大会が目白押しとなっているようです。それに合宿なども予定されているようで、デモスポが終わるまでは忙しい日が続くそうです。でも、五十年に一度地元で開催される大会に出場できるということは、とても幸運なことだと思えます。わたしたちは直接参加はできませんが、おとうさんの陰の力となつて頑張りたいと思っています。

出場選手に負けない演奏を

ただ今、特訓中

わたしたち朝日中のプラスバンド部は、三年生が五人、二年生が九人、一年生が五人の合計十九人の女子だけのメンバーです。プラスバンド部としては、少人数でこじんまりとしているほうです。

メンバーが少ないので音のバランスを取ることに苦労していますが、それをカバーしようと毎日練習に励んでいます。特に一年生はまだ、五月に本入部したばかりなので、わたしたち上級生が急ピッチで音階の指導からはじめているところです。

昨年の三年生が部活をやめた十二月頃から、毎日二時間程度放課後の時間を利用して練習をしています。

わたしたちプラスバンドの出番は、九月七日の開始式と八日の表彰式のとき。主に選手の入場曲や国体旗掲揚のときの演奏などで、大体五〜六曲の演奏になる予定です。

本番まで三カ月半、阿部有子先生や山泉るみ子先生の指導のもと、人数不足はチームワークのよさでカバーして、大会に出場する選手みなさんに負けないように頑張りたいと思っています。

大町

伊藤美千子さん（主婦）



平

佐藤 妙さん

（朝日中プラスバンド部長）



若者定住に新制度スタート

地元就職者に定住奨励金

町内就職者10万円・町外就職者5万円



昨年の新規学卒者激励会出席のみなさん

町では若者の町内定住を促進させるため、新規学卒者で町内に定住する方に就職祝い金を支給することになりました。この制度は、朝日町定住促進条例として三月定例町議会で可決されたもので、今年度から始めてスタートする制度です。

今回該当する方は新規学卒者（中学・高校・大学等を今年の三月に卒業した方）で、町内に住所を有し、将来とも町に住み



続けようとする意志のある方で町内、町外に就職した方と自営業に就いた方です。町内に就職したり就業した方には、一時金として十万円。また、町外に就職及び就業した方には、一時金として五万円が定住奨励金として支給されます。

過去三年間に町出身者で、町内の企業や自営業に就労した新規学卒者は、平成元年が十四名、平成二年も十四名、平成三年が二十二名でした。今年度は男子が十二名、女子が四名の十六名となっています。町では今後も多く若者が町を愛し、定住することに期待を寄せています。

なお、該当される方は五月三十日(土)まで所定の申請用紙に必要事項を記入の上、役場企画情報課または商工観光課へ申請ください。詳しくは企画情報課 ☎ 67-2111 内線222 へお問い合わせください。

町民と町政むすぶパイプ役

新区長さんの紹介

平成4年度

町区長会春期総会開催

五月十四日、町区長会の春

期総会が中央公民館大ホールで開催されました。席上、長年区長として活躍された方々に、自治功労表彰などが贈られました。

▽自治功労表彰（敬称略）

海野敬次（元町）、渡辺仁蔵（大谷連合）、阿部正義（松程）、長岡弥左衛門（石須部）

▽感謝状

松田正蔵（長沼）、多田秀雄（本町）、佐藤正道（宿）、鈴木鴻（杉山）、柴田喜一（大滝）、佐竹昭一（高田）、阿部英（白倉）、渡辺盛夫（大谷二）、鈴木昭二（小原）、峯田定雄（沼向）、清野三吉（送橋）、村山栄（大谷七）、堀真一郎（舟渡）、志藤功雄（川通）

▽内助の功労者

海野はな（元町）、渡辺時子（大谷四）、松田千代子（長沼）、阿部美知（松程）、長岡

たまさ（石須部）

▼新区長（内は世帯数）

本町	今野	優	(95)
西町	安藤	八郎	(121)
栄町	安藤	芳雄	(77)
助ノ巻	布施	正	(57)
大町	鈴木清次郎		(85)
元町	阿部	博	(69)
西原	阿部	鶴雄	(32)
前田沢	今井	幸雄	(76)
新宿	熊谷與志雄		(54)
四ノ沢	近藤	春雄	(62)
小原	佐藤	總一郎	(54)
宿	佐藤	徹	(44)
沼向	菅井小喜治		(43)
平	佐藤	秀夫	(19)
大隅	鈴木	啓一	(38)
古楨	渡辺	栄	(39)
送橋	渡辺	吉蔵	(39)
下芦沢	岡崎	孝雄	(40)
水本	岡崎	惣一	(28)
杉山	齋藤	登	(37)
松原	松尾	信朋	(40)
宇津野	浅岡	安吉	(45)
大滝	佐藤耕次郎		(29)

ご案内

国際エコミュージアム シンポジウムの開催

～空気の日(6月5日)制定記念事業～

町では第3次朝日町総合開発基本構想の基本理念を「楽しい生活環境観・エコミュージアムのまち」と定めました。

そこで、町では6月5日の「空気の日」制定記念事業として「国際エコミュージアムシンポジウム」を開催します。

●日時 6月5日(金) 午前10:30～

基調講演 「日本におけるエコミュージアム」

埼玉大学元教授 新井 重三氏

記念講演 「フランスにおけるエコミュージアム

の歴史と現状」

フランス・パスセヌエコミュージアム前館長

アラン・ジュベール氏

パネルディスカッション

「エコミュージアムとまちづくり」

コーディネーター 新井 重三氏

アドバイザー アラン・ジュベール氏

パネリスト

・文部省生涯学習局教官

福留 強氏

・山形大学助教授 原田 憲一氏

・岩手県東和町「空・山・川研究

所」研究員

今橋 克寿氏

・鶴川女子短期大学講師

萩原なつ子氏

・朝日町長 小林 富蔵

交流パーティー (りんご温泉 午後6:00～)

6月6日(土)

「世界各国にみるエコミュージアムの取り組み
についての視察報告」

●会場 町立西部公民館

●参加費 1人5,000円(町民は2,000円)

●定員 100名(町民の一般参加者は30名)

●参加申し込み 役場企画情報課

●主催 朝日町 朝日町国際エコミュージアム
実行委員会

●後援 環境庁 山形県 (株)丹青総合研究所
(予定)

処理能力一段とアップ

し尿処理施設と清掃運搬車を整備

クリーンセンター

西村山広域行政事務組合寒河江地区クリーンセンターでは、平成二年度から三ヶ年の継続事業として、し尿処理施設の全面更新を行っています。

た施設は、密閉式を採用しているため臭気やガス漏れが少なく、環境に配慮したものとなっています。

現在、管理棟を建設中で全部

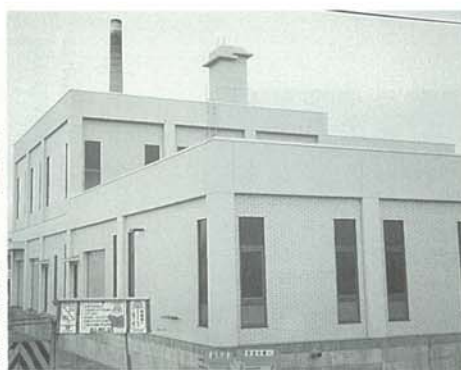
の完成は今年十二月頃の予定。

総工費は二十四億四千万円が投入されます。

また、同じく年金積立金還元

融資六百九十万円を受け、し尿

収集車一台(3・4kリットル)



このたび完成したし尿処理施設

を更新しました。センターでは、この収集車を含め十一台の収集車を十分活用し、なお一層作業能率の向上を図る考えです。

大船木	松程	白倉	立木	石須部	太郎三	太郎二	太郎一	高田	能中	八ッ沼	西船渡	長沼	夏草	常盤	雪谷
佐藤喜市郎	阿部満雄	今野喜助	阿部正二	長岡啓治	長岡正昭	菅野久雄	阿部貢	長岡正	伊藤正一	佐竹博	小関長壽	斉藤聖司	阿部正一	佐竹国雄	鈴木喜美夫
(30)	(11)	(25)	(49)	(14)	(27)	(40)	(66)	(17)	(43)	(50)	(52)	(24)	(47)	(110)	(15)
大谷連合区長	大沼	大暮山	川通	栗木沢	舟渡	真中	中沢	大谷七	大谷六	大谷五	大谷四	大谷三	大谷二	大谷一	今平
小林昭次郎	小林昭次郎	川口清治	志藤政巳	白田常夫	川村朝男	小野重兵衛	五十嵐清之助	小野晴男	保利貞雄	長岡石五郎	白田朝雄	菅井寛	佐藤晃一	大谷啓	鈴木喜兵衛
(38)	(49)	(20)	(85)	(29)	(42)	(40)	(14)	(49)	(71)	(36)	(42)	(40)	(38)	(20)	

気合鋭く心・技一体の攻防

第14回 朝日町長杯争奪剣道大会

朝日町剣道連盟主催の第14回朝日町長杯争奪剣道大会が4月29日、朝日中学校と町民体育館の2会場で開催されました。

出場チームは中学生の部門が県内51チーム、県外12チームの計63チーム。小学生の部門は県外5チームを含む48チームの合計111チームと過去最高の出場数となりました。

2つの会場とも、鋭い気合いと声援の中激しい攻防戦を展開しました。結果は次のとおりです。

[中学校の部]

- ・男子 優勝 庄内遊佐中
- ・女子 優勝 宮城不動堂中

- 準優勝 福島富岡剣道団
- 準優勝 町立朝日中

[小学校の部]

- ・男子 優勝 仙台あらた道場
- ・女子 優勝 天童北部剣道教室

- 準優勝 大谷剣道スポ少
- 準優勝 みずき剣道教室



堂々と選手宣誓をする志藤修
朝日中剣道部主将



目を凝して先輩の試合を観戦する一年生



試合直前のミーティング
表情も一段と厳しくなる



だんごやコンニャクを買い求める付き添いの父兄たち





上背のある相手でも気合は負けていません
(右：朝日中鈴木智雄選手)



思いきりよく飛び込んで相手を圧倒
(右：宮小佐藤英樹選手)

面と小手の激しい打ち合い (左：朝日中遠藤美香選手)



はじめの合図と同時に踏み込み鋭く互いに
面をねらう (右：朝日中白田貞一選手)

■連絡先

役場企画情報課

企画広報係へ

☎67-2111 (内222)



輝け青春

はばたけ未来へ!

平成4年度 朝日町成人式



華やかな晴れ着姿の新成人たち

四月二十九日の緑の日に、華やかな晴れ着をまとった女性やスーツ姿の男性が春の門出を祝いました。

今年の成人対象者は男性が七十八名、女性が六十三名の百四十一名。このうち当日は百二名が出席。就職や進学などで町を離れている、新成人者たちもゴールデンウィークを利用して式典に出席しました。

式では実行委員長の安達和史(本町)さんが「若い情熱と英知を傾け、たくましい行動力を持つて21世紀の担い手としてがんばります」と力強く誓いの言葉を述べました。

また、祝賀会では中学時代の思い出を語り合う光景があちこちで見受けられました。

新宿

お薬師さまの化粧直し

昨年の六月から京都で修理を行っていた、町指定文化財の新宿薬師如来立像が四月二十三日、地元新宿に帰って来ました。

この像は今から八百年前頃の藤原後期の作といわれていますが、虫やネズミの被害による傷みがひどくなったため、町と地元で四百万円ほどをかけ修理を行っていたものです。

地元の人たちは、立派に修復されたお薬師さまに深々と手を合せていました。この薬師堂にはこの他に日光、月光菩薩と十二神将があり、区では将来はこれらの修理も行いたいとしています。



10ヵ月にわたる修理で見ちがえるようになった薬師如来立像

常盤/長岡 祐樹くん
(西五百川小3年)

陽介くん
(2歳)

おじいちゃん/朔次郎さん
(74歳)

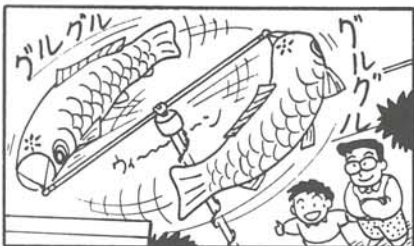
おばあちゃん/タツエさん
(70歳)



ぼくのおじいちゃん

おじいちゃんとおばあちゃん
は、ぼくたちのことを何でもや
ってくれます。でも、自てん車
にのっているとき、あまりスピ
ードをだしたりすると「けがす
つからゆつくりのれ」と、おこら
れます。でも、おじいちゃんも、
おばあちゃんもぼくたちのいう
ことをきいてくれるからすきで
す。いつまでも、元気でぼくた
ちとあそんでください。

祐樹
ぼく



町民の

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

ひとことトーク

社会に役立つ人間に ～柔道は自他共栄の道～



和田 一則さん
(小 原・34歳)

朝日町柔道スポーツ少年団を指導して十年が過ぎました。この十年間をふり返ってみるといろいろなことがありました。試合で負け涙を流した子、勝ってガッツポーズをとった子、練習中に足の爪を負傷し畳を血だらけにしながら最後まで頑張った子、その瞬間、瞬間の姿が私の脳裏に焼き付いています。私は、そのすばらしい感動を与えてくれた子供たちに感謝の気持ちで一杯になるのです。

柔道の創始者である嘉納治五郎先生は、全柔道修業者の究極の目標は、「精力善用、自他共栄」にあるといっています。私たちも柔道の練習や試合の中で己を完成させ、世の中のために役立つ人間になれるように鍛練していきたいと思っています。

ふるさと 人国記 25

阿部 高美

—朝日町の初代広報委員長—



人間の一生は夜空の星のようにさまたまである。しかし、人の世に灯をともしつづけて命果てる一生は、こよなく美しい。生きることは人につくすこと、恵まれぬ人々を救うことを信念として生きた人の業績は尊い。

明治四十三年九月十七日、大谷村の阿部藤七氏長男として生れた彼は、ふるさとの素朴な風土の中で健やかに育った。

昭和六年に県農業試験場付設養蚕科を卒業、直ちに同試験場の助手となる。十五年に郡農会の養蚕技師となったが、この年に開拓団指導員となつて満州の阿城大谷開拓村に渡った。戦後の二十一年に帰国。大谷

人間の一生は夜空の星のようにさまたまである。しかし、人の世に灯をともしつづけて命果てる一生は、こよなく美しい。生きることは人につくすこと、恵まれぬ人々を救うことを信念として生きた人の業績は尊い。

明治四十三年九月十七日、大谷村の阿部藤七氏長男として生れた彼は、ふるさとの素朴な風土の中で健やかに育った。

昭和六年に県農業試験場付設養蚕科を卒業、直ちに同試験場の助手となる。十五年に郡農会の養蚕技師となったが、この年に開拓団指導員となつて満州の阿城大谷開拓村に渡った。戦後の二十一年に帰国。大谷

昭和三十八年三月助役に選任され、町行政の要としての重責を果していくことになる。町広域水道計画を手はじめに、町民の生活向上に力をつくした。

昭和四十三年暮から病魔におかされ、翌四十四年四月三十日逝去。五月六日に進町葬としての葬儀を挙行、その偉大な人の死を悲しみあつた。享年五十八歳。

文・杉ひさし



「空気神社」参拝者20万人突破

一昨年の7月に空気神社建立奉賛会の有志によって建立された、「空気神社」の参拝者がゴールデンウィーク中の5月4日、20万人を突破しました。

ちょうど20万人目になった方は、山形市の仁藤千代太さん(67歳)。仁藤さんには奉賛会より感謝状と清酒の「空気セット」が、また朝日自然観からはコテージ無料宿泊券が贈呈されました。仁藤さんは「あらためて、自然の大切さを感じました」と話してくれました。



中山間地農業シンポジウム開催

「朝日町における中山間地農業の活路を探る」をテーマとした中山間地農業シンポジウムが3月24日、農業団地センターで開催されました。

当日は、町内外の農業関係者約百六十名が出席。主催者の地域開発研究会の阿部宗一郎会長の進行で農林省の山口勝郎参事官、県農政課の今井敏課長、それに山形朝日農協の鈴木辰次郎組合長らがそれぞれの立場から、課題や将来展望について意見を交換しました。



保育園児たちによる「火の用心」行進

無火災祈って大行進

町消防団春季演習

町消防団恒例の春季消防演習が四月二十六日、朝日中学校グラウンドで行われました。

■消防庁長官表彰

▽永年勤続功労章 白田雄一

(副団長)

■県知事表彰

▽金条章 第二分団第一部

▽特別功労章 松尾芳明(本部付副分団長)

▽功労章 白田敏男(副分団長)

五十嵐義行(副分団長)菅井正彦

(二の三)渡辺忠義(一の四)岡崎

信博(一の五)鈴木芳文(二の五)

▽功績章 高橋久仁彦(一の一)

鈴木芳太郎(一の二)長岡典巳

(二の一)佐竹勇悦(二の三)

白田孝一(二の四)佐藤吉範

(二の六)保利隆宏(三の一)

鈴木義昭(三の二)小林俊一

(三の三)遠藤清実(三の四)

遠藤和春(三の五)

▽精練章 鈴木高敏(一の

一)渡辺弘敏(一の三)長岡

裕二(一の三)清野正美(一

の四)岡崎重勝(一の五)阿

部和寿(一の六)清野裕一

(二の二)阿部正昭(二の三)

鈴木茂(二の六)志藤正利

(三の一)阿部孝(三の二)白

田正俊(三の三)白田重明

(三の四)川村敏秀(三の五)

▽永年勤続退団者 白田光

廣(大沼)

主婦E 前回の話の古紙100%のトイレットペーパーは置いてない店もあつて探すのが大変ですね。

エコ博士 売ってなければ買えない訳で、これからは店の消費者のリサイクルに対する意識を高めて行くことが大切になってくるんじゃない。最近増えているトイレットの発泡スチロールも同じことが言えるんじゃないよ。

主婦 わたしたちがトレーに入ったほうを買えば、お店でもトレーに入れたがるということですか。

博士 そのとおりです。お店では、あらかじめトレーに入れて置けば、混雑した時など購入が容易にできるという利点があるんじゃない。

主婦 なるほど。でも過剰に使用しているところもあり、あつという間にたまってしましますよ。

博士 それを焼くと有毒ガスが出るから、危険物として出すか、できたらリサイクルに回さなければだめじ





根合田山から眺める沼向地区と最上川

ふるさとめぐり (23)

活気ある

風にあふれる里

沼 向

東方にそびえる根合田山頂から和合むらが一望されます。最上川の蛇行する手前に、小学校や寺の銀杏の木が見えます。この中央に位する集落が沼向地区です。

寺の北隣に大きな沼があり、大小の魚や鴨などが泳いでいたのですが、全部埋立てられてしまいました。その沼の向かいの集落だったわけです。

ここは果樹組合の活動がさかんで、活気にあふれています。

組合の青年部活動もユニークな交流事業を展開しています。中央に墓地がありますが、昔ここに和合城があったということです。老人クラブの活動も活発で、長生きを目標に働いたり運動したりしています。西方に最上川の流れが眼下に見られ、川風が吹きあがつてきます。舟が二つ三つ水に浮んでいて安らぎを与えてくれます。りんごとともに生き、りんごについて心を交流しているこの地区には、たしかに活気ある風があふれています。

(鈴木久夫 広報委員長)



みどりのプレゼント

恒例となった緑のプレゼントが4月27日、宮宿公民館前で行われました。

これは「みどりの日」を記念し、西村山地方森林振興協議会と町の共催で毎年行われているもの。町内三保育園の代表園児や一般の町民が待ちうけるなか「地球環境保全のためにも、緑は大切にしましょう」と170本のアメリカハナミズキが小林町長らの手によって渡されました。

平成4年度新体制

団 長	渡 辺 金 二	一の三部長
副 団 長	白 田 雄 一	一の四
本部分団長	柴 田 彰 亮	一の五
同 分 団 長	松 尾 芳 明	一の六
同 副 分 団 長	阿 部 為 吉	二の一
同 副 分 団 長	五十嵐 義 行	二の二
第一分団長	菅 井 賢 一	二の三
同 副 分 団 長	今 井 仁 志	二の四
第二分団長	鈴 木 秀 一	二の五
同 副 分 団 長	大 井 寿 一	二の六
第三分団長	高 取 俊 光	三の一
同 副 分 団 長	白 田 敏 男	三の二
同 副 分 団 長	高 橋 久 仁 彦	三の三
一の二	渡 辺 弘 敏	三の四
一の二		三の五

菅 井 正 彦	渡 辺 忠 義	岡 崎 吉 博	阿 部 和 寿	長 岡 純 一	阿 部 正 芳	佐 竹 長 司	向 藤 秀 哉	佐 藤 吉 範	鈴 木 義 昭	小 林 俊 一	遠 藤 清 実	堀 敬 美
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------

やよ。主婦 隣町では回収している店があるのですが、なかなか持っていけないのが現実ですね。博士 朝日町の商店でも早く回収してほしいものじゃ。お店では、売りつばなしでなく、その後仕末まで責任を持つべきだね。また買うほうも、面倒でもきちんと洗って持つて行くぐらいの常識は身につけてほしいなあ。そして、買うときは再生品を選んでこそ、本当のリサイクルなんじゃ。

明るい選挙は私たちの自覚から

町明るい選挙推進協議会を委嘱

町明るい選挙推進協議会は、お金や品物などに影響されたゆがんだ選挙の追放と、政治に対する意識の向上を主な活動としています。この度、委員の改選にともない次のみなさんが新会員になりました。(敬称略)

会 長	川 村 新一(大谷二)	会 員	柴田とし子(大町)
副会長	白 田 光郎(常盤)	若 月 吟子(西船渡)	
会 員	佐 竹 瑞穂(夏草)	遠 藤 良子(真中)	
大 井 武(太郎三)		鈴 木 和美(四ノ沢)	
長 岡 一美(前田沢)		鈴 木 俊治(助ノ巻)	
		今 井 俊助(前田沢)	
		塚 本 且道(大谷二)	
		小 関 長壽(西船渡)	
		柴 田 彰亮(大町)	
		小 国 和夫(大町)	
		布 施 正(助ノ巻)	
		白 田 重明(栗木沢)	



学校五日制とは――

九月からスタート、その対応に向けて

二コースで「学校五日制」ということが盛んに聞かれます。今年の九月以降、学校は毎月第二土曜日が休みになるという事です。今年は九月十二日を初めとして、六日間ありますから、学習する日数も昨年より六日間減ることになります。

なぜ、学校五日制？

学校五日制がさげられた背景として、これまでの学校のあり方に問題があると指摘されてきました。

- ・学校教育は知識の伝達に偏り過ぎている
- ・家庭や地域で、子供の遊び、自然体験、社会体験、生活体験が著しく減少している
- ・社会全体が学校教育にたいして、頼り過ぎています

現在、二十一世紀に生きていく子供達に、自ら考え主体的に判断して行動する能力を育てることが急務となっています。そのため、子供達に「ゆとり

と生きがいのある生活をさせること」と「様々な体験を通して豊かな情操と社会性を育成すること」が求められるのです。

学校五日制にする

意識

先頃、山形新聞紙上に記載された日本世論調査の結果では、月一回の休みの場合

賛成 49%	反対 44%	その他
賛成 46%	反対 49%	その他

とのことです。

山形県教育委員会が今年の二月に発表した意識調査の結果では、子供達は圧倒的に賛成（小学生六〇・八％、中学生七八・〇％、高校生七九・一％）でした。しかし、父母になると反対が五八・六％（父四七・六、母六四・〇％）となり、特に母親の反対傾向が強く出ています。

賛成の主な理由としては、

- 小学生
- ・友達と遊ぶ 四九・三％
- ・家族と過ごす 一三・五％
- 中学生
- ・家でのんびり 四〇・四％
- ・近所の友達と遊ぶ 二〇・三％

保護者

- ・親子の触れ合い 三八・三％
- ・自由な時間が増える 二二・六％

反対の主な理由としては、

- 小学生
- ・家がつまらない 四三・七％
- ・一日の勉強時間増 三六・〇％
- 中学生
- ・一日の勉強時間増 四五・〇％
- ・家がつまらない 一八・三％
- ・受け皿不十分 二五・一％
- ・休業日は十分 二二・八％

新刊書案内

- ◇出雲からの挑戦／岩国 哲人
- ◇風葬の城／内田 康夫
- ◇アメリカを葬った男／S・ジャンカーナ

- ◇長崎オランダ村／村山 龍
- ◇はやぶさ新八御用帳／平岩 弓枝

- ◇金日成調書／北方 謙三
- ◇汚名／杉本 苑子

- ◇恋愛学校／渡辺 淳一
- ◇平城の歩き方／木村 和久

- ◇世紀末への発進／落合 信彦
- ◇「新世界秩序」と日本／久保田忠衛

- ◇ポストバブル時代の経済戦略／海江田万里
- ◇戦後引揚げの記録／若槻 泰雄

- ◇君の恋のつづきを占おう／秋本 康
- ◇アリランのうた／朴 壽南

- ◇終の夏かは／古越富美恵
- ◇母／三浦 綾子

- ◇中国気功学／馬 済人
- ◇子育てのなかの性教育／山本 直英

- ◇脳死移植／NHK脳死プロジェクト
- ◇嫁と姑は名優たれ／斎藤 茂太

- ◇仏陀に還れ／ひろさちや
- ◇コメ自由化の落とし穴／江波戸哲夫



土曜日の過ごし方は どうなる

- ◎体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れます。
- ◎学校行事は、各種類毎に内容を精選し、少し減ります。
- ◎学習の遅れがちな子供に対しては、必要に応じて補充指導などを行います。

学校運営上

- ◎地域住民の遊び、スポーツ、文化活動などを行う場として、校庭、体育館、図書館、特別教室などの学校施設を積極的に開放します。
- ◎自分の生活を組立てることができるよう、休業日を含めた自由時間の過ごし方について日頃から指導します。
- ◎家庭の役割などについて、保護者の皆さんにいろいろな情報を提供します。
- ◎保護者や地域社会の人々と協力して、青少年団活動、異年齢集団による地域活動、奉仕活動などへの参加を促し、有意義な学校外活動が促進されるよう協力します。
- ◎社会教育団体や施設、地域住民などの協力を得ながら地域におけるボランティアなどの人材の発掘に努めています。

- ◎家庭や地域社会で、主体的に生活することが基本となります。しかし、活動できる場の一つとして、学校の施設を開放します。
- ◎家庭や地域社会においては、自由な時間を子供に与えることを原則としていくことを期待します。

- ◎保護者がいない子供については、実態を調査して、早急に公民館活動とかスポーツ・文化活動などをすすめます。

- 多くの問題をかかえながら、子供達に自由な時間を十分に与えることを原則としてスタートするのです。「どうなる」という心配ごとだけではなく、「自分の子供をどうするか」を解決しなければならぬのです。学校、家庭、地域全体、子供達の健全な成長を願っているのです。お互いの立場で受け皿づくりの知恵を出し合いながら解決していかなければならないと思います。

(町立西五百川小学校)

校長 澤田 宏)

寒河江・西村山が七位 町から8選手出場

県縦断駅伝大会

新緑の山形路に健脚を競う第三十八回山形県縦断駅伝競争大会が、四月二十七日から三日間にわたって二十七区間三〇〇・四キロのコースで行われました。上位入賞をめざして出場した寒河江・西村山チームは、今野幸昭監督(西町)を中心に健闘しましたが、16時間59分04秒のタイムで総合七位に終わりました。朝日町から出場した選手は次のみなさんです。

斎藤和彦(杉山)、海野宏行(送橋)菅井繁美(大隅)、早坂健一(大谷五)鈴木幸喜(高田)、鈴木伸治(平)海野裕喜(能中)、伊藤 司(能中)



伊藤司選手から早坂選手へタスキを渡す
(左沢中継所)

保護者の週休は

- ・社会が未実施である 一五・八%
 - ・学力低下 九・三%
- 西五百川小学校で昨年度調査した結果では、「今まで通りでよい」と答えた方と「実施に踏み切る」と答えた方とほぼ半々でした。

では、保護者の週休普及はどうでしょう。西五百川小学校の調査では次のようです。

保護者の場合		父親の場合	
毎週 13%	月2・3回 26%	毎週 2%	月2・3回 29%
	月1回 19%		月1回 20%
	休みなし 42%		休みなし 49%

学校はどう変わる

- ①家族と共に過ごし、手伝いをさせる
- ②宿題を出してもらい勉強させる
- ③思う存分遊ばせたいという願いでした。

小学校及び中学校については、子供達の学習負担などを考慮して次のような工夫が行われます。毎日勉強する時間割

- ◎これまでとあまり変わりません。中学校では一日の勉強時間が少し増える曜日があるかも知れません。
- ◎学校が独自に行っていた教育活動は、学校によって精選す



●大谷一／志藤 幸次さん
重子さん

さややか 新婚さん

「お互いに、相手のやさしくて思いやりのあるところにひかれたのかな」と話す2人。重子さんいわく「彼は以前より、もっとやさしくなりました」と彼の顔を見つめ、さっそくアツアツぶりを披露してくれました。

旅行とスポーツが大好きな二人の新婚旅行はヨーロッパ。エーゲ海のクルージングがとても気に入ったようで、もう一度行ってみたいと語ってくれました。

秋にはお父さん、お母さんになる予定の2人は「元気な赤ちゃんが生まれてくれれば、それだけで十分です」と話してくれました。二人の名前のように幸せが次々重なっていくことをお祈りします。

(伊藤博美 広報委員)

人口と世帯数

●平成4年4月30日現在

人口	10,416 (△33)
男	5,184 (△13)
女	5,232 (△20)
世帯数	2,558 (△1)
	() 内前月比

春夏秋冬

編集後記

この薬師如来立像は、町内の仏像の中でも最も古く、今から八百年前頃(藤原後期)の作と見られていた。それが今回の修理で、さらに二、三百年ぐらいは溯るようだということが判明。そうすればこの薬師像は、寒河江の慈恩寺の仏像群にも匹敵する古さということになる。

その昔、人々はこの仏像にどんな願いを込めて作り上げ、何を祈ったのだろう。

(K)



おしあわせに

(婚姻届)

村山市 大谷一
伊藤 幸次 ♡ 志藤 重子
菅井 和則 ♡ 寒河江市 黒田たえ子



すこやかに

(出生届)

区名 出生児氏名 父名
四ノ沢 伊藤 大貴 秀一
雪谷 鈴木 省吾 義彦
水本 高橋 未来 正巳
宿 鈴木 綾華 昇



やすらかに

(死亡届)

四ノ沢 鈴木 元 ♡ 孫 偉芳
区名 死亡者氏名 世帯主
大谷四 東海林繁夫 嘉見
西町 鈴木 金雄 廣雄
八ッ沼 尾形 富男 仲子
大谷二 佐々木周五郎 欽三
送橋 相座 照男 加代子
栗木沢 白田スズヨ 章
太郎三 長岡まさゑ 喜美雄
宿 鈴木 房子 春雄

みなさん
よろしく

広報「あさひまち」に新風を

新広報委員が誕生

町づくりの課題やお茶の間の話題などを取り上げ、広報「あさひまち」の編集を行っている町広報委員会。このほど任期満了にともない次の方々を新たに委嘱しました。

○委員長 鈴木久夫 (沼向)
○副委員長 堀 重雄 (元町)
○委員 阿部晃士 (企画課課長)
○委員 小松 敬 (今平)
○委員 五十嵐義行 (中沢)
○委員 水沼和子 (大谷七)
○委員 堀敬太郎 (大谷二)

○役員内 長岡茂(農業研究所)・花山護(建設課)・伊藤博美(住民課)・村山敏子(保健課)・長岡典巳(農林課)・清野雅英(商工観光課)・早坂健一(北部公民館)・清野直治(自然観)・鈴木正則(生涯学習課)

○委員 西沢敬子 (西原)
渡辺豊文 (送橋)
長岡輝美 (常盤)
松田栄子 (栄町)
鈴木高光 (元町)
飯田重憲 (商工会)

「お薬師さまも家に帰って来て、なんぼがゆつくりしているベエ」と、話しながら手を合わす姿があちこちに見られる。

村人たちが、十ヶ月ぶりに修理先の京都から新宿のお堂にもどって来たのを迎えに集まったのである。修理に要した費用は約四百万円、そのうち二百万円は町から支出。残りについては、信仰心厚い地区民の浄財でまかなわれた。